



題字 萩原田 親

934

2020/10/5

日中友好新聞

発行所

日本中国友好協会
〒111-0953
東京都台東区浅草橋3-2-3
錦和ビル5F
電話 03(5639)3146(F)
FAX 03(5639)2147
http://www.jcf-jcfr.jp
E-mail: jcf@jcf.jp
発行 03(5639)2146

日中友好協会
岡山支部

〒735-0034
岡山市北区下伊福
西町1-58 民主会館1F
TEL/FAX 0861-256-1806

日中友好協会
倉敷支部

〒712-8031
倉敷市福部町32461-45
TEL/FAX 0861-415-7806

日中友好協会岡山支部ホームページ
http://rizhongyouhao.jinaa.net
メールアドレス
rizhongyouhaoxienuikayama@yahoo.co.jp



9・18柳条湖事件89周年街頭宣伝

―戦争体験の正しい継承は次世代への責任―

日中友好協会岡山支部 小林軍治

9月18日、天満屋アリスの広場前で、「柳条湖事件（満州事変）89周年の横断幕」を立てて街頭宣伝をした。

この宣伝は「不再戦・平和友好期間」（7月7日の盧溝橋事件から9月18日の柳条湖事件まで）最後の行動である。「7・7」は、新型コロナ

ナウイルス感染拡大のため中止したので、久しぶりの街頭宣伝となった。

日中岡山支部は、これまで「日中不再戦は憲法9条を生かす道」との立場で、この事件の宣伝をしてきた。

参加者は、日中岡山支部から3人（河井理事長、小林事務局長、稲葉理事）と、岡山県九条の会から2人（伊原事務局長、妹尾事務局員）の計5人で、ビラ配布とマイクによる宣伝を行った。

まずマイクを持った小生は、商店街や通行人の人々に、次の3点を訴えた。

①軍が暴走をはじめるとだれもとめられない

今日は、89年前の1931年に奉天（現在の瀋陽）駐留の関東軍が「満鉄」の線路爆破事件を起こし、これを中国側の仕業に見せかけて、侵略戦争をはじめた日である。

当初、日本政府は事態の不拡大の声明を出した。しかし、関東軍はそれを無視し中国東北部のハルビンなど主要都市を占領し、32年にかいらい「満州国」を作り上げた。その後、政府も関

東軍の独走を容認する姿勢に転換した。

以降、関東軍は「満蒙は日本の生命線」のスローガンのもと「日本人移民実施要綱案」を策定した。骨子は「日満両国国防の充実、満州国治安の維持ならびに日本民族の指導による極東文化の大成を図る」ために日本人移民（後の開拓団）を積極的に受け入れようとするものであった。

そして、37年7月7日に盧溝橋事件を起こし、中国全土に侵略を拡大し、日中全面戦争へと突入した。もはや軍部の独走をだれもとめられなくなった。

1945年8月15日のアジア・太平洋戦争敗戦まで、約15年間戦争を続けた。

②日本人も忘れてはならない日

この侵略戦争で中国人をはじめアジアの人々約2000万人、日本人310万人の命が奪われた。

中国社会では、9月18日を「勿忘九・一八」と呼んで忘れられない日である。もちろん日本人にとっても、アジア・太平洋戦争とつづく「15年戦争」の発端となった日で、忘れてはならない日である。

③戦争体験の継承は次世代への責任

私は、「旧満州国」からの引き揚げ体験について次のように話した。

「1942年9月に、満州開拓団で生まれた。45年8月9日に、ソ連が『満州国』に侵攻した。3才の私は、母に連れられて避難を開始した。関東軍の主力は、南方

戦線に移動し、『北満』は、作戦放棄地域となり、開拓団を守ってくれる軍はいない。

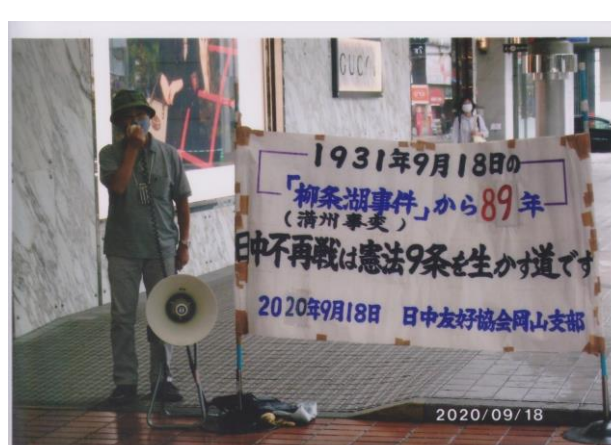
9月上旬に、ソ連軍にとらえられ捕虜になり、収容所を転々とし、ハルビンの花園小学校に収容された。そこで私は、運よく父親と再開でき、1946年10月（4才の時）に日本に帰ることができた。しかし、多くの子どもは、餓死するか、中国人に預けられた。この預けられた子どもが『中国残留孤児』である。そして『柳条湖事件』は、『中国残留孤児』が生まれる遠因になった」と述べた。

今日、戦争体験者が亡くなったり、高齢化する中で、過去の侵略戦争を肯定・美化する動きが広まっているだけに、こうした体験を引き継いでいくことが大切である。

※裏へつづく



左から稲葉、河井、小林、伊原、妹尾さん



伊原さん

※表からつづき

敵基地攻撃能力は平和に逆行

県九条の会の伊原さんは、「安倍政権を継承」し、「憲法改正にしっかりと取り組む」菅政権を次のように批判した。

「そもそも権力者を縛るのが憲法だが、その憲法をないがしろにしている。敵基地攻撃能力の研究など許されないが、それをやろうとしている。敵基地の情報収集を米国に依存している現状では、自衛隊が米軍とともに海外で戦争する軍隊になる。まさに、憲法9条を破壊することになる。」

ドラ100枚配布

約50分の行動で、表には「日本と中国、世界平和友好のために」「平和憲法を守り生かし平和な日本を」と、裏側には、自らの加害体験を告白した人々の思い「人間が人間であることを許されない戦争」「憲法9条をゆがめるのは戦争をするためだ」など書いたビラを100枚配布した。

なお、岡山民報の坪中さんが取材にきてくれた。

第38期 中国語講座が

2020年10月から開

講します。

場所は岡輝公民館

時間は午後6時から8時

最初の授業は10月3日です。

ぜひ一度のぞいてみてください。

今まで講師としてお世話になっていた劉小妹老師が岡山大学を卒業され、10月に中国へ帰国されます。それに際して、せっかく長く岡山で生活されていたのだから、その経験を活かしていただくとうと、交流会を開催して、お話をしていただきました。その詳細は前回、前々回の新聞紙面で紹介させていただきます。

ここでプチ情報、中国へ帰国すると2週間隔離生活をするそうです。そこから、自分の家に帰ることになるそうで、お金も時間も大変負担になるといことです。

その劉老師から新しい講師として、姫宇垣老師をご紹介いただきました。これからの中国語講座を、新しい講師と進めていきたいと考えています。その姫宇垣老師の自己紹介です。



次回の新聞発送作業は
10月12日(月)午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

葉林内
稲小竹